

# 地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 18日

（報告先）  
横浜市長

住所 東京都中央区日本橋一丁目4番1号  
日本橋一丁目ビルディング  
氏名 オニキス・リアルティ有限会社  
取締役 三品 貴仙

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

## 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	オニキス・リアルティ有限会社 取締役 三品 貴仙					
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都中央区日本橋一丁目4番1号 日本橋一丁目ビルディング					
主たる事業の業種	大分類	K 不動産業、物品賃貸業				
	中分類	69 不動産賃貸業・管理業				
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）				
	原油換算エネルギー使用量	2,276	kl	自動車の台数		台

## 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

## 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

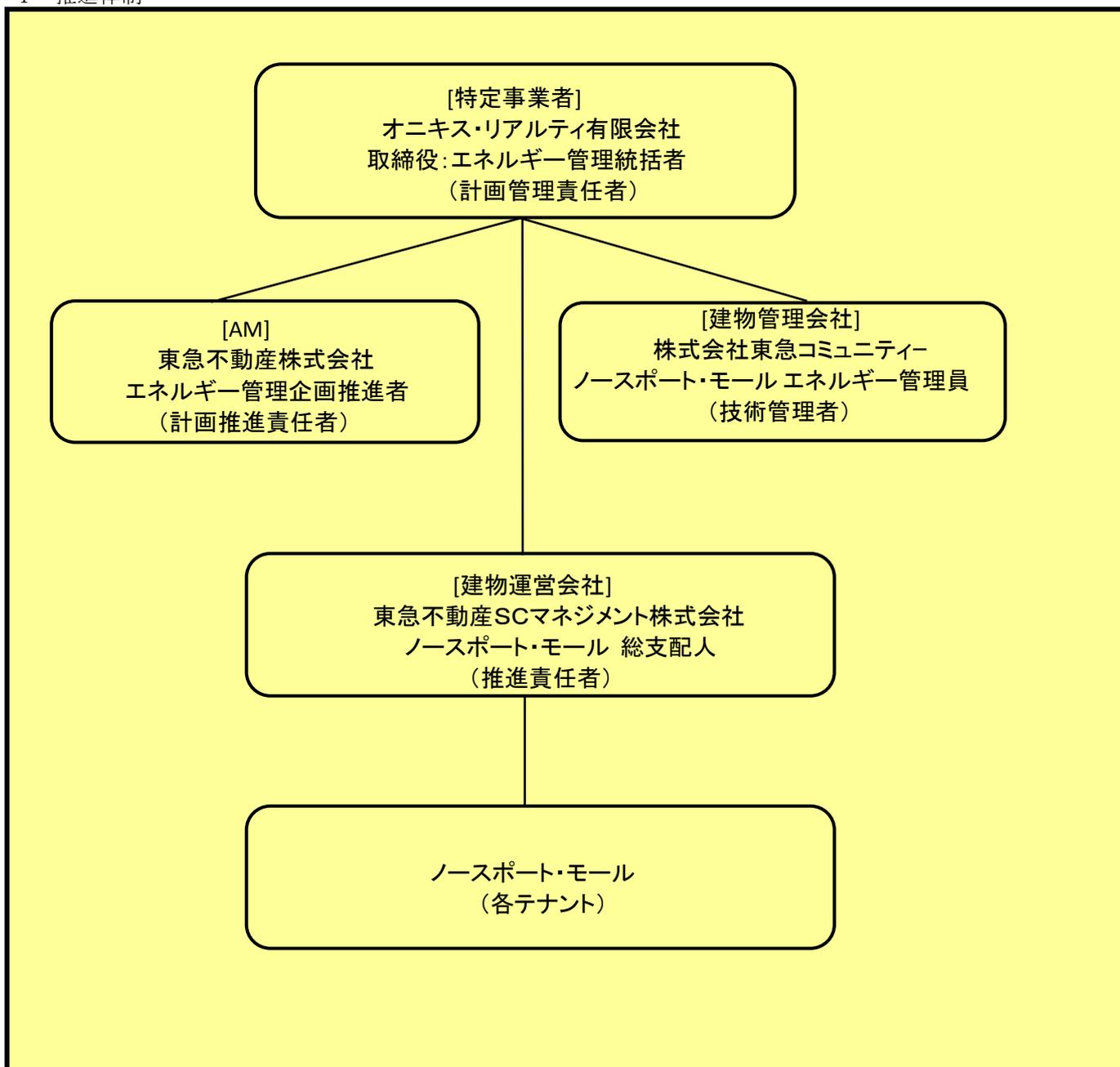
【基本方針】ノースポート・モールはテナントが約120社入っている商業施設であり、テナント区分及び共用区分で管理が分かれている場所があるが、建物全体として積極的に地球温暖化対策に取り組むことを継続する。共用部分については、建物運営会社・管理会社の協力を得て、エネルギーを消費する設備の維持管理、改善及び運用方法の見直し等の省エネルギー及び温室効果ガスに繋がる施策を検討し、取り組むこととする。  
また、テナント区分については、地球温暖化対策に関わる啓蒙活動を実施し、二酸化炭素の削減を図る。本計画において、従来の省エネ機器への変更の検討に加えて、使用開始後11年目を迎えた熱源設備を含む諸設備の経年劣化を防止する維持管理が大変重要となるので、これに取り組むこととする。

上記方針に基づき、2017年度に施設リニューアル工事に伴いB2階から6階までの客用通路及び3階フードコート客席部分、駐車場、管理諸室、バック通路において照明のLED化工事を実施。

2018年度従業員トイレ、階段、駐車場案内表示灯におけるLED化工事を実施。本工事を実施することにより試算上約50%程度の消費電力削減が可能となる。

2018年度に空調用冷温水・冷却水ポンプのインバーター化を実施。また、2019年度には冷温水発生機の運転制御システムを導入する。これらの導入により、空調熱源機器の使用エネルギーが約6.7%削減される。

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	ノースポート・モール 防災センター受付
	所在地	神奈川県横浜市都筑区中川中央1-25-1
	閲覧可能時間	10:00~18:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	5,580	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位	39.54	t-CO <sub>2</sub> / 千m <sup>2</sup>
	調整後	5,492	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位	38.35	t-CO <sub>2</sub> / 千m <sup>2</sup>
目標年度 (2018年度)	目標排出量	5,412	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.0 %	削減率	3.0 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	エネルギー消費の多い冷凍機、給排風機を主とする設備機器の性能維持管理及び運用面の改善によって、排出量の削減を図る。							
事業者全体としての目標等	各種機器の更新時には、排出係数が小さく高効率の機器の選択を検討する。							
第一年度 (2016年度)	排出量	5,643	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 1.1 %	排出原単位	39.99	t-CO <sub>2</sub> / 千m <sup>2</sup>
	調整後	5,503	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 0.2 %		削減率	▲ 1.1 %
目標等の達成状況及び説明	平成28年度日平均気温25℃以上の日が27年度より多い為、冷房負荷増加による消費電力が増加したと考えられる。							
第二年度 (2017年度)	排出量	5,185	t-CO <sub>2</sub>	削減率	7.1 %	排出原単位	36.74	t-CO <sub>2</sub> / 千m <sup>2</sup>
	調整後	4,900	t-CO <sub>2</sub>	削減率	10.8 %		削減率	7.1 %
目標等の達成状況及び説明	リニューアル工事に伴い部分店舗営業中止の為、電気ガスの使用量が減少した。また、B2階から6階までの客用通路及び3階フードコート客席部分、駐車場、管理諸室、バック通路の照明のLED化工事を実施した為、消費電力が減少したと考えられる。							
第三年度 (2018年度)	排出量	4,472	t-CO <sub>2</sub>	削減率	19.9 %	排出原単位	31.69	t-CO <sub>2</sub> / 千m <sup>2</sup>
	調整後	4,139	t-CO <sub>2</sub>	削減率	24.6 %		削減率	19.9 %
目標等の達成状況及び説明	2018年度に従業員トイレ、階段、駐車場案内表示灯におけるLED化工事を実施。また、空調熱源機器のインバーター化工事を実施。上記工事によって消費電力が減少したと考えられる。							
計画期間全体の排出状況に関する説明	2017年度と2018年度の照明のLED化工事及び2018年度の熱源機器のインバーター化工事を実施した為、消費電力の減少に繋がった。							

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )						
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	5,580	1	5,643	1	5,185	1	4,472
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計	1	5,580	1	5,643	1	5,185	1	4,472

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )						
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度						
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	該当なし	非該当	/	—	年度	該当なし	非該当	/	—	年度	該当なし
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	15	機器性能管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)空調設備 3/3	—	年度		実施済	(設備の種類)空調設備 3/3	—	年度		実施済	(設備の種類)空調設備 3/3	—	年度	
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)空調設備 3/3	—	年度		実施済	(設備の種類)空調設備 3/3	—	年度		実施済	(設備の種類)空調設備 3/3	—	年度	
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度				
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度			
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度			
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。  
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。  
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		4.70 %		4,472		684.7		474.4		210					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	既設インバーター付き外調機10台においてインバーター最低周波数を変更することで省エネ効果を高めた。 ・インバーター付外調機の設定調整による省エネ	ノースポート・モール	2016	インバーター平均値 70% インバーター下限値 60% CO2 排出量 102.4 燃料・熱・電気の使用量 合計 185,833kWh	昼間買電	185,833	kWh	95.1	インバーター平均値 60% インバーター下限値 40% CO2 排出量 69.6 燃料・熱・電気の使用量 合計 126,403kWh	昼間買電	126,403	kWh	64.7	30.4	千円
2	LED照明への更新	ノースポート・モール	2017	蛍光灯45W×3647個 17時間/日×365日/年	昼間買電	1,018,334	kWh	521.4	LED32W×3647個 17時間/日×365日/年	昼間買電	724,148	kWh	370.8	150.6	千円
3	空調用冷温水・冷却水ポンプのインバーター化	ノースポート・モール	2018	一次冷温水ポンプ 15kw x2台 冷却水ポンプ 22kw x2台	昼間買電	133,083	kWh	68.1	定格流量の60%にて運用	昼間買電	76,090	kWh	39.0	29.2	千円
															千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	LED照明	2017年度	蛍光灯45W→LED32W(3647個×17時間/日)×365日/年	削減消費電力量:294,185kWh (駐車場、バック通路)
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	333	東京電力エナジーパートナー（株）
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	廃棄物の排出量の把握及び削減対策
計画期間内に実施する対策	廃棄物の排出量の把握及び削減対策（継続）。減量化・資源化をさらに充実させる。
第一年度実績	廃棄物の排出量の把握及び削減対策（継続）。減量化・資源化を図る。
第二年度実績	廃棄物の排出量の把握及び削減対策（継続）。減量化・資源化を図る。
第三年度実績	廃棄物の排出量の把握及び削減対策（継続）。減量化・資源化を図る。

14 実施状況等に対する自己評価

2018年度に従業員トイレ、階段、駐車場案内表示灯におけるLED化工事を実施。また、空調熱源機器のインバーター化工事を実施。上記工事によって消費電力が減少した。
--